

# 平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ミヤチテクノス株式会社

コード番号 6885 URL <http://www.miyachi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田尻 康

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長

(氏名) 金澤 裕

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 03-5246-6700(代)

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	3,048	△31.9	△617	—	△638	—	△293	—
21年6月期第1四半期	4,473	—	△49	—	△302	—	△201	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△25.37	—
21年6月期第1四半期	△17.39	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	19,888	10,864	53.4	916.58
21年6月期	20,448	11,366	54.4	959.98

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 10,616百万円 21年6月期 11,118百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	8.00	—	0.00	8.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年6月期期末の1株当たり配当金については未定です。

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	8,400	△8.5	△540	—	△620	—	△400	—	△34.54
通期	18,500	9.1	350	—	200	—	130	—	11.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年6月期第1四半期 12,030,685株 21年6月期 12,030,685株

② 期末自己株式数 22年6月期第1四半期 448,480株 21年6月期 448,314株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年6月期第1四半期 11,582,291株 21年6月期第1四半期 11,582,625株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、景気の底入れ感が見られ、東アジア地域では設備投資意欲が回復しているものの、日本では引き続き個人消費の低迷、デフレ、設備投資抑制といった状況が継続しております。電機電子、部品業界では在庫調整が進み、一部に増産のための設備投資が始まっておりますが、自動車関連業界では、ハイブリット車、電気自動車など新製品に対する設備投資は行われているものの、従来製品増産のための設備投資は抑制状態が続いております。

このような厳しい経営環境の下で、当社グループは受注・売上の確保、固定費・変動費の削減による損益の改善に取り組んで参りました。東アジア地域ではかなりの需要回復が見られるものの、欧米、及び日本国内での主力製品であるレーザー溶接機、抵抗溶接機の減少が大きく影響し、グループの連結売上高は30億48百万円、前年同期に比較して14億25百万円（前年同期比31.9%減）の減収となりました。また利益面につきましては、営業損失は6億17百万円となり、前年同期に比較して5億67百万円の悪化、経常損失は6億38百万円で同3億36百万円の悪化、四半期純損失は、2億93百万円で同92百万円の悪化となりました。固定費・変動費の削減努力にも拘わらず、売上高の減少、及び競争激化による販売価格の低下が主な要因であります。

連結受注高は35億17百万円で、前年同期比64%の水準ですが、当第1四半期末の受注残高は前連結会計年度末に比較して9億円強の上積みとなりました。年末から来年にかけて世界経済二番底が懸念されておりますが、この受注残高の売上への転換、及び当期受注・当期売上により、第2四半期は当第1四半期に比較して増収、かなりの損失の減少を見込んでおります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況

総資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少の198億88百万円となりました。これは、主に当社の売上が不振だったことによる受取手形及び売掛金の減少（6億30百万円）が理由であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少の90億24百万円となりました。これは、長期借入金が増加（6億円）したものの、短期借入金の減少（6億3百万円）や支払手形及び買掛金の減少（96百万円）があったことが主な理由であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少の108億64百万円となりました。これは、主に四半期純損失により利益剰余金が減少（2億93百万円）したこと及び円高により為替換算調整勘定が減少（1億82百万円）したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は30億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ、36百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は前年同期に比べ3億98百万円減少し、1億12百万円となりました。

これは、売上債権の減少（5億43百万円）という資金増加要因があったものの、税金等調整前四半期純損失（5億71百万円）という資金減少要因が大きかったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は前年同期に比べ1億51百万円減少し、92百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出（1億14百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は前年同期に比べ2億32百万円減少し、2億99百万円となりました。

これは主に長期借入れによる収入（10億円）が短期借入金の純減額（6億45百万円）を超過したことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月19日に公表しました業績予想と、変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

(たな卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を主としております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等のたな卸資産で帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度以降に著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,333,356	3,296,062
受取手形及び売掛金	3,992,273	4,622,675
有価証券	48,301	51,390
商品及び製品	1,567,973	1,645,041
仕掛品	1,436,728	1,262,410
原材料及び貯蔵品	1,332,631	1,512,859
その他	1,208,269	856,735
貸倒引当金	△59,702	△71,148
流動資産合計	12,859,832	13,176,025
固定資産		
有形固定資産	4,178,663	4,225,368
無形固定資産		
のれん	333,159	357,031
その他	1,105,327	1,179,736
無形固定資産合計	1,438,487	1,536,767
投資その他の資産	1,411,755	1,510,782
固定資産合計	7,028,906	7,272,918
資産合計	19,888,739	20,448,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,943,259	2,039,349
短期借入金	2,030,293	2,633,310
1年内返済予定の長期借入金	540,000	265,000
未払法人税等	18,828	14,697
賞与引当金	125,699	—
製品保証引当金	140,047	138,278
その他	1,347,391	1,707,310
流動負債合計	6,145,519	6,797,946
固定負債		
長期借入金	2,410,000	1,809,829
退職給付引当金	437,282	441,324
引当金	3,488	2,680
その他	27,833	30,695
固定負債合計	2,878,605	2,284,530
負債合計	9,024,124	9,082,476

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,606,113	1,606,113
資本剰余金	3,734,924	3,734,924
利益剰余金	7,252,571	7,546,412
自己株式	△839,542	△839,415
株主資本合計	11,754,066	12,048,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,819	47,305
為替換算調整勘定	△1,158,872	△976,506
評価・換算差額等合計	△1,138,052	△929,200
新株予約権	222,348	222,432
少数株主持分	26,253	25,200
純資産合計	10,864,615	11,366,466
負債純資産合計	19,888,739	20,448,943

(2) 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,473,758	3,048,644
売上原価	2,135,628	1,831,520
売上総利益	2,338,130	1,217,123
販売費及び一般管理費	2,388,117	1,834,213
営業損失(△)	△49,986	△617,089
営業外収益		
受取利息	3,827	1,580
受取配当金	562	375
助成金収入	—	15,150
その他	7,213	15,475
営業外収益合計	11,603	32,581
営業外費用		
支払利息	15,853	28,324
為替差損	216,234	14,744
その他	32,041	10,960
営業外費用合計	264,130	54,029
経常損失(△)	△302,513	△638,537
特別利益		
固定資産売却益	2,906	23,560
受取保険金	—	51,702
特別利益合計	2,906	75,262
特別損失		
固定資産除売却損	1,112	8,466
特別損失合計	1,112	8,466
税金等調整前四半期純損失(△)	△300,719	△571,741
法人税等	△100,788	△276,829
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,499	△1,071
四半期純損失(△)	△201,430	△293,840

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△300,719	△571,741
減価償却費	172,062	173,315
のれん償却額	8,110	23,871
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△16,069	4,486
受取利息及び受取配当金	△4,390	△1,955
支払利息	15,853	28,324
売上債権の増減額(△は増加)	1,116,937	543,673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,012,154	△13,674
仕入債務の増減額(△は減少)	—	△58,759
その他	△62,111	△168,424
小計	△82,482	△40,884
利息及び配当金の受取額	6,628	1,922
利息の支払額	△16,367	△31,401
法人税等の支払額	△419,168	△42,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	△511,389	△112,639
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	133,521	1,951
有形固定資産の取得による支出	△221,458	△114,554
有形固定資産の売却による収入	10,848	24,239
無形固定資産の取得による支出	△166,538	△8,134
投資有価証券の売却による収入	—	4,269
その他	—	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,627	△92,079
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	620,854	△645,296
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△50,000
配当金の支払額	△191,526	△1,555
その他	102,529	△3,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	531,857	299,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△141,380	△58,489
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△364,540	36,206
現金及び現金同等物の期首残高	3,073,569	3,045,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,709,028	3,081,658

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益合計額に占める「産業用電気機械器具事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,854,309	672,822	886,550	1,060,076	4,473,758	—	4,473,758
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	819,106	119,855	33,413	277,430	1,249,805	(1,249,805)	—
計	2,673,415	792,677	919,964	1,337,506	5,723,564	(1,249,805)	4,473,758
営業利益又は営業損失(△)	△61,379	△194,035	△54,529	187,191	△122,752	72,766	△49,986

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……ドイツ、オランダ、フランス

(2) アジア…韓国、中国、台湾、タイ

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (千円)	米国 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,240,019	672,832	650,189	485,603	3,048,644	—	3,048,644
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	344,096	60,084	12,266	126,249	542,697	(542,697)	—
計	1,584,115	732,917	662,455	611,853	3,591,342	(542,697)	3,048,644
営業利益又は営業損失(△)	△744,816	6,597	△44,259	62,432	△720,045	102,955	△617,089

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……ドイツ、オランダ、フランス

(2) アジア…韓国、中国、台湾、タイ

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（千円）	597,485	851,984	1,334,500	2,783,971
II 連結売上高（千円）	—	—	—	4,473,758
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	13.4	19.0	29.8	62.2

（注）1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アメリカ…米国、カナダ、中南米

(2) 欧州………ドイツ、オランダ、フランス

(3) アジア……韓国、中国、台湾、タイ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

	アメリカ	欧州	アジア	計
I 海外売上高（千円）	534,428	639,143	684,677	1,858,250
II 連結売上高（千円）	—	—	—	3,048,644
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	17.5	21.0	22.5	61.0

（注）1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アメリカ…米国、カナダ、中南米

(2) 欧州………ドイツ、オランダ、フランス

(3) アジア……韓国、中国、台湾、タイ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。